

## ■神奈川区で想定される大地震発生時の被害予想

出典：神奈川区防災計画（震災対策編）を一部加工・想定は平日18時

	元禄型関東地震	東京湾北部地震	南海トラフ巨大地震
神奈川区での想定震度	震度6弱～7	震度5弱～6強	震度5弱～5強
火災による焼失棟数	11,462	2,781	144
倒壊及び火災死者数	380	47	0
負傷者数	1,891	410	20
避難者数(翌日まで)	58,870	20,439	9,848

\*神奈川区は密集した木造家屋が多く、揺れと火災による被害が大きい。

避難場所は従来の南神大寺小学校、三ツ沢小学校の他、2015年度からは松本中学校も防災拠点に(現時点でも避難可)

## ■ガーデン山自治会の考える「共助・援護・責任」とは

○当ガーデン山自治会では、要援護者に対する援護は「発災時は誰もが被災する恐れがあり、要援護者の安否確認等は地域の共助による取組であり、できる範囲で行うもので、責任を伴うものではない」と定義しています。

## ■発災時の行動指針

### ★援護者の場合

1. 発災時はまず自身と家族の安全確保
2. 避難路確保、家屋の損傷確認、初期消火
3. 担当要援護者の安否確認
4. 救助マーカの玄関先掲示(自宅・要援護者宅)
5. グループ長への報告

### ★グループ長の場合

1. 発災時はまず自身と家族の安全確保
2. 避難路確保、家屋の損傷確認、初期消火
3. 担当援護者との連絡
4. 救助マーカの玄関先掲示(自宅)とグループ内のマーカ確認
5. 班長・副班長への報告

### ★班長・副班長の場合

1. 発災時はまず自身と家族の安全確保
2. 避難路確保、家屋の損傷確認、初期消火
3. グループ長との連絡
4. 救助マーカの玄関先掲示(自宅)と班内の救助マーカ確認
5. 会長or副会長or防災部長への報告

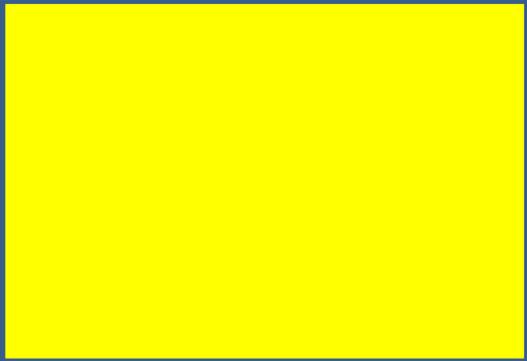
## ■ 救助マーカ－の使い方

\*対象家屋玄関先の目立つ場所に掲載ください。



○名負傷

「赤」: 救助が必要な人が閉じ込められている。  
或いは怪我をしている人数がわかれば書き込む。



「黄」: 不明(安否が確認できない)  
(援護者・グループ長・班長のみ所持)



「緑」: 居住者は無事、又は避難済